

長野県支部

中小製造業の現場改善の重要ポイントに関する調査研究

2008年9月のリーマン・ショックを契機に世界経済は急速に悪化した。我が国経済は、2010年には世界経済の復調を受けての輸出、生産の持ち直し、政策効果の終了の反動等により減少した自動車販売が2010年末にかけて底を打つなど、2011年初めより我が国経済は足踏み状態から脱しつつあった。このような景気の拡張局面において、東日本大震災が発生し、建物や設備の損壊等の直接的な被害のみならず、原材料調達や商品配送の停滞、自粛ムード等による消費マインドの低下等により、広範な分野にわたって、我が国経済に影響を与えることとなった。また中小製造業においても大きな影響を受けることになった。

こうした状況化で、製造業が復活して行くためには、中小製造業を支援する者も工場改善等を迅速に行える能力を身につける必要がある。そのため、製造業の現状、経営課題等を把握するために、P（量的生産性）、Q（品質）、C（原価）、D（納期）、S（安全・衛生）、E（環境）の視点について調査・研究を行い中小企業経営者、経営指導等に携わっている方をはじめ、製造業とのかかわりのある行政機関や金融機関等の方々に幅広く活用されるように、わかりやすくマニュアルを作成した。

第1章では、製造業の特徴として工業内容の仕事の流れ、生産のタイプを解説している。

第2章では、製造業の7つの基本として生産性、PDCA サイクル、5S、目で見える管理、カイゼン運動、IT化の実践・活用、モチベーションを解説している。

第3章では、「ムダ・ムラ・ムリ」とりとしてダラリの定義、時間研究、工程分析、時間研究、標準時間、かんぱん・セル生産・他能工化などを解説している。

第4章では、利益アップのためにとして実際原価と標準原価、直接原価計算、損益分岐点、在庫削減を解説している。

第5章では、不良品を出さないためにQC七つ道具、品質保証、TQC・TQM、ISO9001：2008、苦情・クレーム処理、なぜなぜ5回を解説している。

第6章では、納期を守ろうとして生産計画、資材のリードタイム、生産のリードタイム、受注から出荷までの進捗把握を解説している。

第7章では、安心して働くためにとしてハインリッヒの法則、KYT、ヒヤリ・ハット、ゼロ災運動、労働衛生に関する主な法令と労働衛生管理の基本、有機溶剤の取り扱い、粉じんの取り扱い、RoHS、保護具の解説をしている。

第8章では、地球にやさしいモノづくりとして3R、ISO14001、エコアクション 21、MFCA、LCA、ゼロエミッション、バイオマス、公害対策7つの法律、自然エネルギーの利用、省エネについて解説している。